

JB Customer Report

カスタマーレポート



岐阜県内で、実際に機械をご導入いただいたお客様の「生の声」をご紹介します！

取材：営業部 営業企画支援課

印刷制限がなくなったら 学校が明るくなった!?

笠松小学校 様

2012年11月にORPHIS X7200を導入。
近藤栄美子校長先生にお話を伺いました。



カラープリントのお陰で、掲示物が明るく見やすい!



写真の拡大プリントをして、
こんな風に黒板に貼って使うことも出来る!

本校は、地域との関わりを大切にすると共に、創造性、社会性、自主性を持ち、「みんなのしあわせを考えて、豊かな心で、ねばり強く、やりぬく子」を教育目標として掲げ、「明るい挨拶」「カー杯の掃除」「生き物を大切に育てる」事を、児童自ら積極的に活動しています。

そして、子供達が、カー杯、明るく、学校生活を過ごすために、又、ご家族の方々に、学校生活の様子を如何にビジュアルに伝えるか、そんな問題を少しでも解決する為に、ORPHISを契約しました。

①印刷に取られる時間が格段に減りました。

以前は毎月560枚の学校通信の印刷に苦勞していましたが、ORPHISを導入してからは短時間で印刷出来るようになりました。また、PCから直接印刷出来ることにより、無駄な原稿の印刷が無くなるなど、職員の仕事の効率が向上しました!

②印刷物に温かみができました。

学年通信、ボランティア写真、テスト問題と言った印刷物が、モノクロと同額でカラー印刷できる為、より一層見やすくなり、学校の思い、先生の思いが、生徒に、ご家族に伝わっているようです。

印刷制限がなくなり、カラー印刷物が増えたら、教員も、学校も明るくなった! ? 気がします。

③ポスター印刷にも活用しています。

掲示用ポスターも大判プリンターでは維持費がかかる為、悩みの一つでしたが、PCソフト上で分割して出力→ラミネート加工すれば、綺麗な掲示用ポスターが作成できます。

毎月生徒が取組んでいる風景のポスターなど、入替の早いポスター印刷にも活躍しています。

営業担当者の声



ORPHISでの両面印刷や丁合出力によって、印刷に費やす時間が大幅に削減できたとお聞きして、大変嬉しく思います。そして、モノクロからカラーに印刷物が変わることによって、学校自体が明るくなったという「生」の声を、御紹介していきたいと思っております。

営業担当：尾関紀彦